女狐（1950）

GONE TO EARTH
WILD HEART

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 82分
初公開日 1952/11/17
公開情報 東和＝東宝

【解説】

米のデヴィッド・Ｏ・セルズニックと英のアレクサンダー・コルダという大物プロデューサー同士が組んだ大作で、主演は当時セルズニックの夫人だったＪ・ジョーンズ。カミさんを大いにひき立てようとする企画は「白昼の決闘」などと同様、それでも作品の質にきちんと拘る姿勢も同じだ。製作者としての彼の良心が窺える。ジプシーの血を引くウェールズ娘ヘイズルは“フォクシー”と呼ぶ雌狐をなにより可愛がっていた。彼女を慕う男らしい地主の青年レディン（Ｄ・ファーラー）は無理やりヘイズルをものにしようとして挫ける。一方、新任の牧師エドワード（Ｃ・キューザック）も彼女に魅かれ、肉体の関係を求めないことを条件に結婚を承諾させた。が、嫉妬にかられたレディンに連れ去られ、情を通じたヘイズルは肉の歓喜に浸るが、牧師も狐も恋しく、エドワードに迎えられ彼のもとへ帰る。周囲の非難は猛烈を極めたが、彼の愛は変わらず、二人の絆は堅くなった。そんなある日、迷い出た雌狐を探すヘイズルは狐狩りに巻き込まれてしまう……。１９世紀末のイングランドを舞台に、野性味あふれる娘の情熱的な生きざまを、黄金色のヒース丘のロケ撮影も美しく、堂々と描いたプレスバーガーとパウエルのコンビ作。

【クレジット】

監督	マイケル・パウエル	Michael Powell
	エメリック・プレスバーガー	Emeric Pressburger
製作	マイケル・パウエル	Michael Powell
	エメリック・プレスバーガー	Emeric Pressburger
製作総指揮	デヴィッド・Ｏ・セルズニック	David O. Selznick
	アレクサンダー・コルダ	Alexander Korda
原作	メアリー・ウェッブ	Mary Webb
脚本	マイケル・パウエル	Michael Powell
	エメリック・プレスバーガー	Emeric Pressburger
撮影	クリストファー・チャリス	Christopher Challis
音楽	ブライアン・イースデイル	Brian Easdale
出演	ジェニファー・ジョーンズ	Jennifer Jones
	デヴィッド・ファーラー	David Farrar
	シリル・キューザック	Cyril Cusack
	シビル・ソーンダイク	Sybil Thorndike

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.